

世界の気象観測の精度向上のための会合開催について 世界気象機関（WMO）専門家チーム会合

世界気象機関（WMO）現業用気象測器の計量に関する専門家チーム（ET-0M）の会合を、平成 29 年 11 月 27 日から 11 月 30 日にかけて東京及びつくばにおいて開催します。

天気予報や気候変動の監視を精度良く行うためには、高品質で均質な気象観測を継続的に行う必要があります。日本のみならず途上国を含めた世界各国において気象測器（温度計・湿度計・気圧計など）の適切な校正（気象測器の精度を標準となる測器と比べて正すこと）及び保守を行い、精度を維持した気象測器を用いて、気象観測を行うことが重要です。

このため、WMO では、気象測器の精度を高い水準で維持し、またそれを担う専門家を育成するために、世界に計 15 の地区測器センター（RIC：Regional Instrument Centre）が指定されています。日本においては、1998 年から気象庁の気象測器検定試験センターが RIC としての国際協力活動を行っています。

本会合においては、当庁の専門家を含め世界 11 カ国から 12 名が集まり、RIC を中核とした世界の気象観測の精度向上のため、各国の取り組みや今後の RIC 等の活動方針について議論されます。当庁も約 20 年間におよび RIC としての活動の経験を活かして、本会合の議論に積極的に貢献していきます。

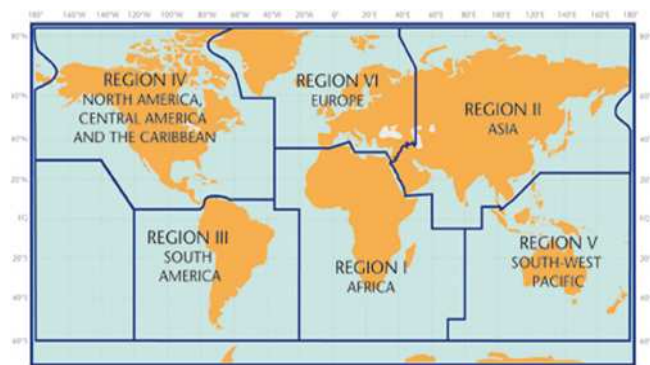
問合せ先：観測部 観測課 気象測器検定試験センター
電話 029-851-4121 FAX 029-851-1670

世界気象機関（WMO）地区測器センター（RIC）について

世界気象機関（WMO）により、気象測器の精度を高い水準で維持し、またそれを担う気象測器の専門家を育成することを目的に、世界に計 15 の RIC が指定されています。そのひとつとして、気象庁の気象測器検定試験センター（茨城県つくば市）が RIC に指定されています。

地区測器センター（RIC）の一覧

WMO 地区協会	地区測器センター（RIC）
第 地区（アフリカ）	アルジェ（アルジェリア） カイロ（エジプト） カサブランカ（モロッコ） ナイロビ（ケニア） ハボロネ（ボツワナ）
第 地区（アジア）	<u>つくば（日本）</u> 北京（中国）
第 地区（南米）	ブエノスアイレス（アルゼンチン）
第 地区（北・中米）	ブリッジタウン（バルバドス） サンホセ（コスタリカ）
第 地区（南西太平洋）	マニラ（フィリピン） メルボルン（オーストラリア）
第 地区（ヨーロッパ）	ブラチスラバ（スロバキア） リュブリャナ（スロベニア） トゥールーズ（フランス）



世界における各 WMO 地区協会区分地図

地区測器センター（RIC つくば）における国際協力活動について

気象庁の気象測器検定試験センター（茨城県つくば市）は、世界気象機関（WMO）地区測器センター（RIC）として、世界各国の気象測器の精度を高い水準で維持し、またそれを担う専門家を育成するための活動を1998年より行っています。

世界の気象観測の精度向上のため、1998年から現在まで、のべ17の国と地域からの気象測器の校正依頼を受け入れ、のべ13ヶ国へ気象庁専門家を派遣し現地で研修を実施するとともに、のべ6ヶ国の専門家に対する日本での受け入れ研修を実施してきました。



写真1：茨城県つくば市における気象測器検定試験センターの施設

日本の地区測器センター（RIC）としての業務を行っています。



写真2：外国での活動風景
場所：スリランカ・コロンボ
（平成29年6月）

スリランカ気象局へ派遣された気象庁の専門家が、気象測器の校正方法の研修を実施しました。



写真3：日本での活動風景
場所：気象測器検定試験センター
（平成27年12月）

日本へ派遣されたモザンビーク国家気象院の専門家に対する、気象測器の校正方法の研修を実施しました。